

盲導犬を普及させる会



ニュースレター
写真で見る活動の記録

発行「盲導犬を普及させる会」
〒271-0092
千葉県松戸市松戸 1813-1-905
TEL 090-8003-7790
FAX 047-711-9988
modokenfukyu.net@gmail.com

学校盲導犬講演（昭和学院小学校）



盲導犬を普及させる会 御中

拝啓 陽春の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

このたびは、貴会の皆さまにおかれましては、本校の児童に向けた特別授業を実施していただき、誠にありがとうございました。盲導犬の役割や、視覚障がいを持つ方々の生活について直接学ぶ貴重な機会をいただき、子どもたちにとって大変有意義な時間となりました。

児童たちは、盲導犬とともに生きる方々の思いや、社会の中で助け合う事の大切さを深く感じ取ったようです。いただいた学びを、これからの生活の中で活かしていけるよう指導してまいります。

つきましては、感謝の気持ちを込め、児童の感想文をお送りいたします。ささやかではございますが、どうかお受け取りいただけ れば幸いです。

改めまして、このたびのご厚意に心より感謝申し上げますとともに、貴会のますますのご発展をお祈り申し上げます。

3 年生 学年職員一同

感想文 昭和学院小学校 3 年生 A 子さん

私は今回の授業を受けてとても感動しました。なぜならまついさんとウパムちゃんのきずながつながっているように見えたからです。たとえば COME とまついさんが言った時。ウパムは少し迷ったけれどもしじ通りに行動をしました。その時、なんてすばらしいきずななんだろうと思いました。そしてウパム等のもうどう犬が飲食店や、飛行きにはいることや乗る事できるということを始めて知りました。今回のじゅぎょうはとてもよかったです。今回はありがとうございました。

◇ごあいさつ◇

盲導犬を普及させる会 会長 森 俊士

この1年、体力・気力等の萎えを感じ、盲導犬を普及させる会の活動が思うようにできなくなりましたので盲導犬を普及させる会の会長を退く決意をいたしました。これまで四半世紀続けてきた盲導犬の普及活動をどなたに託そうか悩んで組織内で話し合いを続けてきましたが、自分自身がやりますと手を挙げる方がいませんでした。そこで組織の解散までも考えて関連機関に解散手続きをおこなうなどを相談をしていた時に、当会の発足の時からアドバイザーの松井様にご相談し、お返事をいただきました。普及させる会の役員からも会長が松井様でしたらサポートしますとのことだったので次期会長をお願いいたしました。松井様は全盲ですが目の不自由な方のため、図書を普及させるために全国の図書館に盲導犬と一緒に出張を重ね、千葉県立西部図書館で働きの盲導犬に関する図書を6冊も出版している(代表作:絵本「盲導犬アンドリュースの一日」)優秀な現役の千葉県職員です。お忙しい中、会長を引き受けていただきましたので感謝すると共に今後の活動に関し、相談しながらやっていけたらと思っています。

●第27回総会開催案内

1. 総会日程並びに会場
開催日時 2025年4月13日(日)9時~12時
開催場所 松戸市民劇場(松戸市本町11-6)第1会議室
総会当日主席出来ない方でご意見のある方は電話またはFAXで事務局までご連絡ください。欠席の方はすべての議題に委任頂いたものとして決議させていただきます。
2. 2024年活動報告
① 小学校での盲導犬講演(2カ所)
② 県内身体障害者補助犬のサポート
③ 身体障害者補助犬訓練所のサポート
④ 身体障害者補助犬交流会

3. 2025年主な行事予定
2/25 昭和学院小学校盲導犬授業
2/25 監査会・役員会 常盤平ココス
3/3 ニュースレター編集会議
3/23 ニュースレター発送作業(松戸市民劇場)
4/13 総会(松戸市民劇場)
11月 身体障害者補助犬交流会
学校盲導犬授業

盲導犬使用希望者募集

令和6年度決算

収入の部			支出の部		
項 目	金 額		項 目	金 額	
前年度繰越金		5,207,096	活動費		147,066
京葉銀行定期預金	2,032,881		学校講演等講演料	9,000	
京葉銀行普通預金	32,154		交流会経費	118,066	
郵便貯金	3,141,555		諸会費・寄付金	20,000	
手持ち現金	506				
利息		653	事務局運営費		318,555
京葉銀行定期預金	651		ホームページ運営費	34,320	
京葉銀行普通預金	2		倉庫保管料	30,000	
			事務局費	113,292	
会費		126,000	通信費	118,690	
個人会員	56,000		消耗品費	7,100	
賛助会員	70,000		支払手数料	11,253	
			旅費交通費	600	
寄付金他		422,770	保険料	3,300	
寄付	39,000		小計		465,621
協賛金	40,000				
募金箱	251,270		次年度繰越金(盲導犬導入資金を含む)		5,290,898
グッズ販売			京葉銀行定期預金	2,033,532	
参加費	57,500		京葉銀行普通預金	69,798	
講演料	35,000		郵便貯金	3,173,342	
			手持ち現金	14,226	
合 計		5,756,519	合 計		5,756,519

盲導犬を普及させる会の会長になります！

松井 進

私が盲導犬と一緒に歩き始めたのは1993年2月からです、早いものでもう30年以上が経過しました。そして盲導犬を普及させる会が発足したのが、2000年5月ですから、会の活動に関わって四半世紀が経とうとしています。今まで3人の会長の皆様のリーダーシップのもと、

- ① 小中学校や高校訪問しての盲導犬への理解促進のための講演と、視覚障がいガイドヘルパー体験
- ② 盲導犬の飲食店やホテル、タクシー等の利用拒否をなくすためのステッカー貼付活動
- ③ パーベキュー交流会を通して、盲導犬使用者や視覚障がい者、一般の参加者との交流や、食事のサポート方法を体験し理解を深める事業
- ④ 盲導犬体験歩行や、視覚障がい理解とガイドヘルパー体験を行いながら、盲導犬使用希望者を発掘する活動
- ⑤ 盲導犬チャリティーコンサートを開催し、音楽を通じて盲導犬への理解やガイドヘルパー体験、盲導犬使用者や介助犬使用者の体験談を聞く事業

特に④の「盲導犬体験歩行」や、⑤の「盲導犬チャリティーコンサート」は、行政の協力や沢山のボランティアの皆様のご支援をいただき、代表的な活動でした。しかしコロナ禍で開催が困難となり、その後は再開できずにいます。今後はまず原点に帰り、

- ① 盲導犬への理解や視覚障がい者について知っていただくための広報を充実させるためのホームページやYouTube配信
- ② 現在盲導犬を実際に使用しているユーザーへのドックフードやダスターコート（洋服）等の支援
- ③ 希望する学校を募集し、盲導犬の仕事や視覚障がい者のサポート方法を体験してもらうための話の授業

以上三つの活動を徐々に行っていきたいと考えています。

現在盲導犬を普及させる会は、①会員の減少とそれに伴う予算の減少 ②実際に活動をしてくださるボランティアの方の減少 ③実際に活動に参加して下さる盲導犬使用者の減少と、まさに日本が直面している人手不足と予算不足の状態にあり、活動を持続し継承していくのが困難な状態にあります。

私も会長を引き受けさせていただくにあたり、まだ現役でフルタイムで働いていることから、なかなか思ったような活動は難しい状況です。そのため、ホームページの作成やYouTube配信、ニュースレターの作成等、技能を持つ外部の人たちの支援を募集しつつ、持続可能な活動を模索していきたいと考えています。そのためには今までご寄付いただいた浄財も活用させていただきながら、時代に即した活動を模索してまいりたいと思います。

当事者である私には、健康者の皆様であれば当たり前に行えることであっても、正直難しいことが沢山あります。しかし多くの皆様の支えや協力があれば、きっとできることもあるのではと信じています。今後会員の皆様をはじめ、スタッフやボランティアの皆様にもご迷惑をおかけすることが多々あるとは思いますが、今後とも皆様の変わらぬご支援をどうかよろしくお願い申し上げます。

そして私自身も、傍らに常に寄り添ってくれる盲導犬の支援も受けながら、自分でできることを精一杯努力してまいりたいと思いますので、どうかよろしくお願い申し上げます。

盲導犬ユーザー飯島カオリさんからの情報です。

視覚障がい者支援センター千葉で教養講座「ユニボイスブラインド」をおしえてもらってきました。ユニボイスブラインドというソフトで印刷物にある音声コードを読み取ると自治体からの情報や現在地からの避難場所までのルートを音声と振動で道案内をしてくれます。詳しくはネットで「ユニボイスブラインド」を調べてください



こんにちは！使用者の西澤陽一郎です。8月10日、8年間共に過ごした相棒・介助犬ラッキーが引退し、新たなパートナー「はっち」の生活がスタートしました！実は、はっちは私にとって3頭目の介助犬。次の子を迎えるため、1年前から準備を開始しました。2024年4月からの合同訓練は、仕事終わりの19時半から1時間ずつ。ラッキーの引退が近づくにつれ、まるでカウントダウンのようで、多忙な毎日にヘトヘトでした。そんな中、ついに「はっち」の出会い！黒ラブの女の子と聞いていましたが、これまで男の子ばかりだったのでドキドキ。「かわいい！小さい！黒光り！」と興奮するも、手を伸ばすと…スツと避けられました。「え、嫌われてる…？」とショックを受けつつ、信頼関係づくりをスタート。訓練は週2～3回、合計40日以上。焦る気持ちを抑えながら、はっちの性格を知り、一步步関係を築いていきました。ラッキーの引退日が決まり、お疲れ様会を盛大に開催！そして、はっちは晴れて介助犬デビューを果たしました。ちょっぴりビビりだけど元気いっぱい！食いしん坊で寂しがり屋な、はっち。しかも、アスリート並みの力持ち！車いすを引く力強さには毎回驚かされます。これから一緒にたくさんお出かけして、たくさん思い出を作ります！3頭目とはいえ、新しいパートナーとの生活は毎回新鮮で、学びの連続です。初心を忘れず、家族とはっちと笑顔あふれる毎日を過ごしていきたいです。

第 17 回身体障害者補助犬交流会

2024 年 11 月 4 日、松戸市 21 世紀の森アウトドアセンターにて千葉県内外の盲導犬や介助犬、視覚障害者の方々やボランティアが集まり、BBQ や盲導犬の歌「合唱」や盆踊りなどを楽しみながら、補助犬ユーザーや視覚障害者の方々からのお話があり補助犬の受入や目の不自由な方の対応等の啓発活動を行いました。



2024年度協力者名簿

<賛助会員> 剣持英子、安藤じゅん子、京成ホテルミラマーレ、今村正、春野亜津子、

渡新工業(株)、イワブチ(株) <寄付金> 片倉悦子、道端久美子、中村明雄、

八代大三郎・八千代、丹澤明子、田沼香代子、吉田仁、上野京子、

<協賛金> 中西淑江、高橋清江、セキハウス(株)

<募金箱> Café de kaori、五井動物病院、どんぐり動物病院、

まる動物病院、小金原動物クリニック、森俊士、東京軒、おさんぽ動物病院、

<講演料> 高木第二小学校、昭和学院小学